

令和元年度水稲の生育状況(7月10日調査 速報)

農業普及技術課農業革新支援担当

- 1 移植後、6月第1半旬までの気温は各地域とも平年より高く、日照時間も多く経過したが、6月第2～第6半旬の気温・日照時間は平年並～やや低く（少なく）推移した。
7月第1半旬は気温・日照時間も平年並～やや上回ったが、同第2半旬は気温が低く、沿岸では日照時間も平年を下回った（図）。
- 2 県全体の生育は、草丈55.0cmで平年より2.6cm短く、茎数は568本/m²で平年並（平年比100%）となっている。茎数がやや少ない東部地域（平年比92%）でも、目標値は概ね確保している。葉数は県全体で10.0葉と平年並である（平年差-0.1葉）（表）。
- 3 現在、県内の水稲は幼穂形成期を迎えつつあり、県全体では7月11日～13日頃に到達すると予想される。1か月予報（令和元年7月11日発表、仙台管区气象台）によると、期間のはじめ（7月13日～19日）は日照時間が少なく、気温の低い状態が続く見込みであることから、障害不稔の防止のため、徐々に深水管理に移行し、幼穂の保温につとめる。

表 令和元年 生育診断ほの地域別・品種別集計（7月10日調査）各農業改良普及センター調べ

地帯名	草丈			茎数			葉数		
	本年 (cm)	平年 (cm)	平年差 (cm)	本年 (本/m ²)	平年 (本/m ²)	平年比 (%)	本年 (枚)	平年 (枚)	平年差 (枚)
北上川上流	52.6	56.4	-3.8	574	588	98	9.9	10.0	-0.1
北上川下流	56.4	58.3	-1.9	557	558	100	10.1	10.2	-0.1
東 部	56.4	59.7	-3.3	514	560	92	10.0	10.0	0.0
北 部	48.1	52.9	-4.8	702	599	117	9.3	9.5	-0.2
全 県	55.0	57.6	-2.6	568	568	100	10.0	10.1	-0.1
いわてっこ	49.4	53.3	-3.9	642	596	108	9.4	9.6	-0.2
あきたこまち	52.8	55.1	-2.3	550	557	99	9.9	10.0	-0.1
ひとめぼれ	56.0	59.0	-3.0	587	583	101	10.3	10.6	-0.3
銀河のしずく	60.8	64.1	-3.3	497	518	96	10.1	10.0	0.1
どんぴしゃり	57.2	61.2	-4.0	482	543	89	9.8	10.2	-0.4
金色の風	57.9	60.1	-2.2	553	663	83	10.5	10.3	0.2

注1：平年値は原則として平成26年～30年（「金色の風」は平成28～30年、「銀河のしずく」は同27～30年）であるが、調査開始年次の違いや調査ほ場の変更等により、年次毎のデータ数が異なる場合がある。

注2：表中の数値は端数処理を行っている。

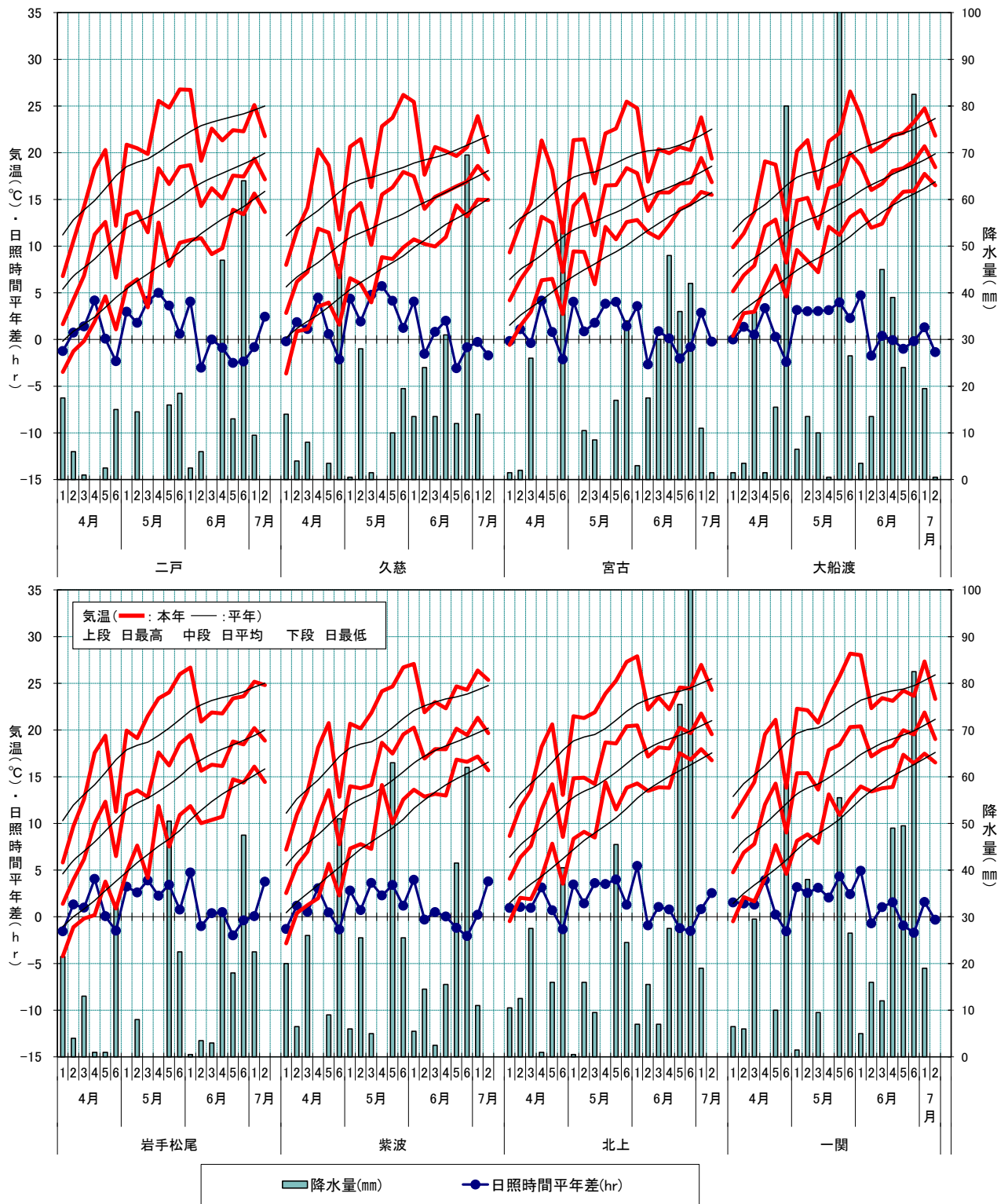


図 各地の半旬別気象経過図 (主なアメダス地点；4月第1半旬～7月第2半旬)

(参考) 東北地方1か月予報(7月13日から8月12日までの天候見通し：7月11日発表)

http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/102_00.html

東北地方3か月予報(7月から9月までの天候見通し：6月25日発表)

http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/102_10.html